

在宅介護と在宅医療の連携について

市長短信
H28年7月25日

1 在宅での「みとり」

- 在宅での「みとり」（在宅死）の割合
- 「最期を迎える場所」希望と実態の乖離

	【希望】	➔	【実態】
自宅	54.6%		12.8%
病院等	27.7%		75.2%

※値は高齢社会白書・全国在宅医療会議資料による。



- 糸島市においても、自宅で最期を迎える方は、9.9%（県内47位）と低い数値
- 在宅で最期を迎えるためには、在宅のまま医療を受けられる環境が重要

2 在宅介護と在宅医療の連携

■「いとしま地域包括ケアシステム」の活用

- 介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしをおくるため、本人と家族を支える仕組み。
- 関係機関との連携
 - 医師会、歯科医師会など関係機関と連携することで、「医療」「介護」「介護予防」「見守り・生活支援」「住まい」の5分野のサービスを一体的かつきめ細やかに提供できるシステム。
- 医療・介護情報の一元化、連携
 - WEB上に、医療・介護の情報収集、相談用サイト「糸島市在宅医療・介護のマップとガイド」を作成

■「在宅医療・介護連携コーディネーター」の活用

- リハビリ専門職や管理栄養士、歯科衛生士等に医療と介護の連携に係る研修の機会を提供。医療と介護の「かけ橋」へ。
 - 関係機関と委託契約を結び、理学療法士や管理栄養士、歯科衛生士などの医療関係者を地域包括支援センターが行う地域ケア会議へ派遣する等、医療専門職の知識、アドバイスを介護の現場に生かす。
- 平成28年4月から地域ケア会議に30回、延べ90人の医療関係者を派遣した。（平成28年6月末現在）

「人気観光地ランキング」上位にランクイン

1 人気観光地としての評価

■「九州・山口人気観光地ランキング」

➢ 旅行情報誌「じゃらん」の読者アンケートの結果、糸島市が上位にランクイン（有効回答：1401人）

◆「満足度が高い観光地ランキング」…第13位/102エリア

◆「2015年に行った観光地ランキング」…第9位/102エリア

➢ 同誌のコメント

「絶景やグルメ等が充実する、自然豊かなドライブエリアも安定して支持されており、上位ランクインする結果となった」

■「人気観光地」としての評価をいただいて

➢ 高い評価への感謝

→ 上位の観光地は、「ハウステンボス」や温泉地など。

目玉となる観光施設等がない糸島を評価していただいていることは大変ありがたい。

→ 評価していただいた魅力をさらに磨き上げたい。

➢ 結果から見えてくる課題

→ 満足度や日帰りで訪れた観光地としては評価が高い。一方で、宿泊した観光地としてはランク外になっている。

→ 今後、宿泊型観光を充実させたい。

2 観光シーズンを迎えるにあたって

■夏の観光シーズンに向けて

➢ 散乱ごみの懸念

→ 海水浴場など海岸線を中心に、観光客が残す「ごみ」が非常に多い。

→ バーベキューセットをそのまま残していくケースも。

→ 取締りも難しいため、各海岸に看板を設置するなど、観光客のモラルに訴えるほか手段がない状態。

継続して観光客の皆様呼びかけを行っていきたい。



昨年の大口海岸